

令和5年度 地域活性化助成事業(前期) 助成決定団体一覧表

NO	団体名	推薦市町村	代表者	事業名	事業内容
1	那覇市国際蔡温橋通り商店街振興組合	那覇市	屋良 修	“しまくとぅば”の継承、普及	「しまくとぅば」を使う人々が減少傾向にある中、未来を担う子どもたちと楽しみながら広く普及させる。しまくとぅばを使用し、かるたを作るワークショップを公民館や、近隣小学校にて実施し学んでもらう。また、大きな短冊を制作し、安里川に鯉のぼりのように吊るし触れさせ、興味、関心を持たせる。
2	美崎町エリアマネジメント	石垣市	仲間 光	美崎町まちづくりセミナー	行政と公民館の間で再開発計画が進行しないため、地域の将来を見据え具体的な在り方を学び、訴えかけることを目的とする。セミナーでは、まちづくりプランナーを呼び、似たような事例について紹介、具体案を提示し、パネルディスカッションを交えて来場者に現状を知ってもらい今後の連携を図る。
3	米須自治会	糸満市	神村 進	米須青年エイサー50周年記念事業	米須地域では、今年50周年を迎える青年エイサーが脈々と受け継がれており、本事業を活用した45周年記念事業は盛況となった。昨年までは、コロナ禍のため規模を縮小し開催した。地域はもちろん、他の地域の人々にも米須のエイサーに参加してもらい青年会存続に繋げる。
4	みんなのあそびば	沖縄市	竹下 夢香	子育て世代のための癒しのワークショップ	子ども食堂を開催する中で、4〜7人兄弟を連れて親御さんと接し、大人の休まるイベントを企画。託児付きにすることで、子育て中の方が参加しやすい環境を作り、エコラップ、ヨガ、ビーチクリーンなどのワークショップから大人の食育・体育・ゴミ育に繋げ、心にゆとりを育み生活を豊かに過ごしてもらおう。
5	サンスマイル	うるま市	高屋 優	うるまキッズまつり	子どもたちに、実際に商品が販売されるまでの過程を、まつりの出店での体験を通して学んでもらい、マネーリテラシーの醸成を促す。学外の学びの場を通して、青少年健全育成を行い地域活性化と未来のうるま市へ貢献したい。
6	ユナムンダクマ協議会	国頭村	大城 靖	あつまれ！こどもの日 GWこどもまつり ～与那において・親子であそぼ♪	過疎化が進む地域であるが、若い人が住みたく、子育てしたくなるような地域づくりを目指し、子どもたちを主役としたイベントを実施する。地域の木材や川を利用し、自然と親しみ遊ぶことで与那の魅力を再認識してもらおう。また、外部よりイベント指導者を呼ぶことで関係人口を増やすことに繋げる。
7	本部町瀬底行政区	本部町	内間 清彦	瀬底島住民憲章制定事業	ホテルや、瀬底島一周線道路の完成に伴い観光客が増大したため、島を守り次世代へ継承するべく住民憲章を制定することとした。地域住民と会合を持ち説明会、意見交換会を重ね住民憲章の制定を行う。また、リーフレットを制作し区民、ホテル、観光客に配布し周知する。
8	(一社)読谷村観光協会	読谷村	比嘉 兼作	読谷村コスモスフェスティバルの整備・開催	昨年、お試し実施したコスモス畑に来村者が多く訪れ、継続を期待されたため、本格的にフェスティバルを開催し今後の村のPRに繋げる。また、コスモス畑の近くに村の魅力観光パンフレットを設置し、伝統工芸品や食、観光体験などを地域住民と観光客に発信する。
9	北中城村の子どもの居場所を考える会	北中城村	屋部 望	「ゆめパのじかん」上映会	子どもたちや不登校予備軍の子どもが、学校、家庭以外で過ごせる居場所が必要であることを、地域住民に理解してもらうことを目的とする。事例である「川崎市子ども夢パーク」の映画を鑑賞、合わせて子ども向けの工作ワークショップやプレイパークを体験してもらうことで認知を図る。
10	坂田自治会	西原町	田本 浩一	まちづくりフォーラム 一坂田区の道路問題とまちづくりを考えるー	町民や地域住民が生活道路として使用している坂田区内道路(私道)の修繕・管理のあり方を共有することで、地域の安全・安心の確保を目的とする。まちづくり専門家に依頼し、道路つづれ問題の事例と解決に繋がる、具体的な切り口を見つけるフォーラムとする。

令和5年度 地域活性化助成事業(前期) 助成決定団体一覧表

NO	団体名	推薦市町村	代表者	事業名	事業内容
11	飛び安里研究会	南風原町	島袋 恒政	飛び安里関連事業	「飛び安里」という、琉球王朝時代の歴史的な偉業を多くの人に啓蒙・伝承し、若い人に夢を持つことの大切さとそれを実現させるための努力の尊さを学んでもらうことを目的とする。また、飛び安里まつりの開催により、文化でまちづくりを展開し地域活性化に繋げる。
12	南風原町青年連合会	南風原町	新垣 希生誠	第6回南風原町青年フェスタ～第17回青年芸能祭～	南風原町内の青年会を中心に、沖縄県南部地区青年団連絡協議会と連携して文化交流を行い、芸能や産物をPRすることで、地元の良さを再確認し、地域活性化に繋げることを目的とする。町内外の伝統芸能や、社会教育団体の文化活動等の舞台発表を行う。
13	志多伯自治会	八重瀬町	神谷 常夫	アフターコロナにおける地域行事再開に向けた活動事業	地域で300年以上の歴史を持つ獅子加那志豊年祭が継承されており、2024年に6年ぶりの開催となるが、コロナ禍により地域の方々が集まりにくい現状が続き不安を覚えている。来年に向け、練習・準備そしてプレ豊年祭を行うことで地域行事の再開と参加しやすい体制をつくることを目的とする。